

3類型	農林水産物	通巻番号	3-24-181
地域資源名	甲州小梅	認定日	平成24年6月20日
地域	山梨県南アルプス市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：規格外の甲州小梅及び小梅の種を活用した新しい食品の開発と販売事業

会社名：長谷川醸造株式会社

所在地：山梨県南アルプス市鏡中条612

連絡先：TEL：055-282-1516
FAX：055-282-1704

H P：http://www.umeume.co.jp

事業概要(新たな活用の視点)

甲州小梅は、同一の木であっても、収穫時期により、カリカリ小梅(早もぎ)と小梅干し(完熟)に分けられる。早もぎと完熟の中間の梅は、「よっぱらい」と称され、栄養分は何ら変わらないが、食感、見栄え、価格などで劣り、活用方法も限定されていた。また、小梅の種は、健康に良質な成分が含まれると言われているが、利用方法が見つからず、現在は、全て廃棄してしまっている。



【梅の木】

本事業では、「よっぱらい」を特殊な製法で加工した菓子(サクサク梅)及び小梅の種を乾燥・粉末化してタブレットにした食品を開発・販売することで、「甲州小梅」の消費拡大、梅農家の収入増加、産地の再興を図る。



【サクサク梅試作】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

中国産の梅を使用した梅スナック菓子等が多い中、消費者に明確な「地域資源」を活用した「山梨県産」の商品を提供できる。

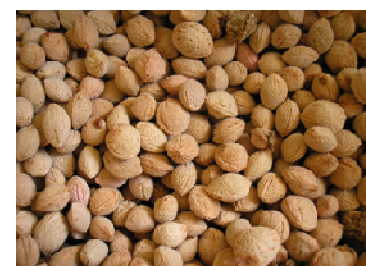
さらに、当社の強みである老舗企業としての信用や高い加工技術を活用できる。

◆市場性

最近、疲労回復、胃の健康など、梅の効能が注目されており、軽くて持ち運びやすく気軽に食べられる本商品は、ポケット菓子、おつまみなどとして健康志向の消費者からの支持が見込まれる。

◆販路

ドラッグストア、健康食品販売店、県内土産店などを活用する。



【梅の種】

地域資源における関係事業者との連携

種のタブレットについては、地元産果実の混合で地元商工会と連携し、成分分析を地元大学などへ依頼するなど、地域ぐるみで商品開発を進める。